

星稜 サ・エ・ラ

seiryo ça et là 2017 No. **44**

inaokigakuen news letter



巻頭

平成29年度 新年度のご挨拶

特集1

星稜幼稚園 × 星稜泉野幼稚園
園長座談会

特集2

中高一貫教育がスタート

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

Amitié Seiryo ～星稜の友～

総合研究所・地域連携センターだより

星稜Pick up/星稜Information

旅立ち、
そして新たな出会い
稲置学園各設置校で学位記授与式・
卒業式・卒園式が執り行われました。

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中！

詳しくはP14をご覧ください

新年度のご挨拶

稲置学園の理事長として就任2年目を迎えました。役員、教職員が目的意識や情報を共有してそれぞれの立場で能力を存分に発揮すると共に、ガバナンスがしっかり働く組織を目指していきます。

さて、今年度の課題として、大きく三つ挙げます。

一つ目は、金沢星稜大学と設置校の両幼稚園、中学、高校との連携強化です。大学の創立50周年を機に、連携にかかる新たなアクションプログラムを策定し、総合学園としての相乗効果を発揮しながら、グローバル社会に対応できる質の高い教育に取り組めます。

二つ目は、教育環境の整備と地域に開かれた共存共栄できる施設環境づくりの推進です。キャンパスの狭隘化を解消するための用地取得や、星稜スポーツのさらなる発展と地域のスポーツ振興に貢献していくオールシーズン対応のスポーツ施設の整備について、検討を進めます。学生、生徒、園児への教育充実を最優先に方向を決めてまいります。

三つ目は、星稜100年ビジョンの次の5年間の具体的な事業計画と、財政指標を策定します。学園の構成員全員が、安心して活き活きと教育に打ち込めるよう将来計画をしっかり定めます。これを確実に実行するためには、一人ひとりが業務に対し責任を持ち、組織のガバナンス機能を強化していく必要があります。

最後に、建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」の下、皆様と共に必要な事業を確実に実行し、いつまでも輝き続ける星稜の教育の実践に邁進してまいります。



学校法人稲置学園 理事長 稲置 慎也

金沢星稜大学は、今年度創立50周年を迎えます。「世界基準の輝き人へ―世界を見すえ地域に活かす」星稜力をこの手に―を掲げ、記念式典及び多彩な記念事業を実施します。卒業生の皆さんとの絆を深めるため「ホームカミングデー」も実施いたします。

さて、大学は2017年度中期計画に基づき、三つの重点事業に取り組めます。

一、グローバル化の促進

本学は毎年約30人の長期・短期留学生を受け入れ、約150人の本学学生（短大生を含む）を海外に送り出しています。教育研究・文化交流をさらに深めるために、インターナショナルウィークを実施します。留学の成果報告会や学生・教職員と海外参加者による交流イベントには、保護者や高校生の皆さんにも自由に参加していただき、国際交流の取り組みに触れてもらいます。

二、学士課程教育の質保証

学部・学科の特性に基づく学位授与、教育課程編成・実施及び入学者受け入れの各方針に基づき、より高い教育の質保証を行います。昨年の卒業研究必修化とともに体系的履修の基礎となるカリキュラムマップ・科目ナンバリングシステムの完成を目指します。

三、地域社会への貢献

今大学の全学部から、多くのゼミ生と先生たちが珠洲から白山に至る広いエリアで自治体や地域の人々と協働し様々な課題に取り組んでいます。地域に根ざす大学として有為な人材を輩出するとともに、活力ある地域づくりに貢献します。



金沢星稜大学 学長 宮崎 正史

「国際化」とか「グローバル化」というものを考える場合に、星短では、「異文化」や「多様な文化」との交流」というより、「多重（繫）な文化」と遭遇し（出会い）、そしてこれに対応していく、というように捉えます。

いつでも、どこでも、誰（何）とでも、逃げず、怖れず、悔まずに応じられる「知性と感性を身につけ、地域社会で輝く女性を育む」星短教育理念。つまり、「星短萌芽更新」、その結実「Lady Seiryo Tan」の登場を意味します。

このため、「MOONSHOT abroad（短期語学研修）」の提携校から派遣教員を星短に招き、「その後の通常（日常）授業」と繋げ、新たな展開を企てていく。これを、「学生・教員・事務職員」三位一体となって、実行（創造）していく。そのように考えています。

よく考えると星短の誕生自体が、北陸における「女子職業人教育」の創造を意味していました。星短は、この事実（前衛であったものが伝統となった事実）を、更新（アップデート）させながら、輝き続けねばならない。これこそ「真の地域貢献」と言えないか。「Lady Seiryo Tan will shine forever」、以上が私の「所信（信ずるところ）」であります。



金沢星稜大学女子短期大学部 学長 篠崎 尚夫



星稜高等学校



星稜高等学校 校長
星稜中学校 校長
鍋谷 正二

星稜中学校

この度、第10代校長就任にあたり、建学の精神を基に以下の方針を定めました。生徒が誠実であり、社会に貢献できる人間として成長できるように、師弟同行の精神で、心「徳育」・技「知育」・体「体育」の調和のとれた教育活動を行う。生徒も教職員も責任を持って事にあたる。その責任ある行動から信頼が生まれ、互いに協力しあえる集団となる。そこから和が生まれ、愛校心溢れる生徒と教職員の集団となり、中高一貫教育を柱とする本校の教育活動が、地域から信頼され必要とされる学校になることを目指す。この方針を基に以下の目標を定めました。生徒、教職員が元気で明るく、安全で安心な学校を目指す。生徒、教職員が夢・目標に向かって努力できる学校を目指す。生徒、教職員が誇りに思い、卒業生から愛され、県民・国民から必要とされる文武両道の進学校を目指す。以上の方針・目標を叶える為の組織づくり、行動と計画の指針を示し、実行します。

建学の精神に基づき、中高一貫教育の理念を以下のように定めました。6年間の学校生活を通して、生徒一人ひとりが豊かな人間性を育み、夢に向かってのびのびと学び続ける中高一貫教育を行います。また、世界で活躍できる人材づくりを目標に創造力、思考力、表現力の育成をはかります。この理念を基に、サイエンスプログラム、キャリアプログラム、グローバルプログラムといった特色ある教育活動を展開し、さまざまな本校独自の取り組みを実施して、本校の教育が地域から信頼され必要とされる学校を目指します。この混乱の時代に先駆けて、生徒たちが誠実に社会に役立つ人間として成長できるように、星稜中学高等学校の教職員一同「チーム星稜」として一丸となり、保護者の皆様と地域の方々のご理解ご協力を頂き、子ども達の未来のための教育を実践します。

4月、幼保連携型認定こども園となり、進化した星稜幼稚園は、これまでの学校教育に新たに児童福祉としての役割がプラスされます。さらに0歳からの保育が始まり、地域における星稜幼稚園の期待は大きく、おかげさまで定員を超える入園希望となりました。その期待に応える実践として「0歳児からの教育・保育のさらなる質の向上を目指す」「子育て支援、保護者支援を推進し、保護者及び地域に信頼される施設運営に努める」「自園給食による食育教育を始める」「金沢星稜大学附属幼稚園として大学との連携を深める」を使命としたいと思います。

幼児教育界は、OECDをはじめとするグローバルな科学的根拠を背景として、教育・保育が変わろうとしています。今まで価値をおいてきた学力調査などで数値化されるような一般知識より、潜在的な能力を育む、意欲・忍耐力・自信・協調性などの目に見えない力「非認知能力」が大切になります。

子ども子育て支援新制度施行3年目。教育・保育のパラダイムシフトの今、非認知能力を育む、ぶれない本物の教育・保育を推進し、星稜幼稚園の信頼が揺るぎないものになり、乳幼児教育施設としても名門となるよう取り組んでいきます。



星稜幼稚園 園長
島田 裕香子

星稜泉野幼稚園は、4月1日より幼稚園の役割と保育の役割を兼ね備えた「認定こども園」として生まれ変わりました。

今までの幼稚園との違いは、2歳児から5歳児までの一貫した教育・保育をすることです。乳幼児期は、主体的な遊びや体験から知識や思考力を獲得し、学びへと繋がっていくと言われています。

2年前より保育環境を見直し、良質の玩具を揃えました。そうしたことで子どもたちが主体的に遊ぶ姿が見られます。また、さまざまな体験を取り入れたことで、保護者の方から「星稜泉野幼稚園に来て良かった」との声がたくさん聞かれるようになっていきます。

そこで、今年度は、「運動能力を高める体験」「地域の伝統文化・工芸に触れる体験」「園庭遊びの充実」「子育て支援の充実」と4つの特徴ある教育・保育を行っていきます。そして、金沢星稜大学と連携してさらに充実した教育・保育を行っていきます。子どもたちの学びが、何かができるようになるという結果ではなく、過程が大切だということを、保護者の方にお伝えしていきます。そして、星稜泉野幼稚園に入園を希望する方が少しでも増えますように職員とともに尽力していきます。



星稜泉野幼稚園 園長
西村 敬子



星稜泉野幼稚園
西村敬子園長星稜幼稚園
島田裕香子園長

星稜の幼児教育が進化

2017年4月、星稜幼稚園・星稜泉野幼稚園が「認定こども園」に移行

幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進める「子ども・子育て支援新制度（新制度）」が、2015年4月にスタートしました。新制度のもと、金沢市でも地域の実情に応じて「認定こども園」の普及が図られています。金沢星稜大学附属の星稜幼稚園、星稜泉野幼稚園の両園も今年4月より、それぞれ幼保連携型認定こども園、幼稚園型認定こども園へと移行し、新たなスタートを切りました。

両園の園長が、認定こども園への移行によって生まれるメリットや、幼児教育・保育への熱い思いを語り合いました。

認定こども園移行が 保護者や子どもにもたらす メリット

島田園長 星稜幼稚園では新制度がスタートした2015年の中頃から幼保連携型認定こども園への移行を検討してきました。4月からは1より0歳からの受け入れが始まっています。

西村園長 星稜幼稚園は、給食施設や乳児室などを新設しますものね。星稜泉野幼稚園は、転勤の方が多い土地柄のニーズもあって、幼稚園型認定こども園として2歳児からの受け入れをしています。いろんな面で保護者のみなさんの期待を感じています。

島田園長 従来の幼稚園のシステムは、フルタイムの共働き家庭には利用が難しいものでしたから、認定こども園になることで、より多くのこ

家庭に門戸を広げることになりましたね。

西村園長 仕事との兼ね合いで幼稚園に入園するために仕事を辞めた方もいらっしゃると思いますし、上のお子さんは幼稚園に、下のお子さんは保育園に通うというご家庭も少なからずありましたから。

島田園長 今後は開所時間が朝7時から夜7時になるので、お仕事をお持ちの方にも頼りにしていただけたと思います。

星稜幼稚園では調理室ができるので、離乳食から幼児食まで、手づくりの温かい給食とおやつを子どもたちに食べてもらえますし、クッキングなどの食育活動にも力を入れます。

西村園長 ぜひランチタイムに泉野の子どもたちも招待してください（笑）。



そうやって0〜2歳の子どもたちを園に迎えることで、施設面だけでなく、園の雰囲気も大きく変わるでしょうね。

島田園長 年上の子が、年下の子を可愛がり、お世話をしようとする。そんな中で、いたわりの気持ちや思いやりの気持ちが自然に育まれると思います。

西村園長 そういう場面は見ていられる大人が癒されますよね。逆に年下の子は、年上の子たちに憧れて「自分もやってみよう」と頑張る。今は少子化で年齢の異なる子ども同士で遊ぶ機会が減っていますが、貴重な機会です。

大切にしてきたことは 変わらず、 さらに質の向上を目指す

島田園長 認定こども園への移行にあたって、在園の保護者の方にとっては「どう変わるんだろう」と不安な点もあったと思います。そこは「これまで大切にしてきたことは変わらず、さらに質の向上を目指す」と繰り返してお伝えしてきました。

西村園長 実際、職員の配置基準や面積基準は、幼稚園の基準を上回りますしね。認定基準をクリアできないために、認定こども園に移行したくても移行できない施設もありますから。

島田園長 さらに金沢星稜大学の附属幼稚園であることが、他の認定こ

ども園にはない魅力であり、強みになっていると思います。

西村園長 星稜ブランドの幼児教育への期待は大きいですね。幼児教育において大切なのは遊び、主体的な遊びこそ教育、ということは両国共通の理念であり、これからは変わっていきません。

島田園長 それは声を大にして言いたいですね。乳幼児期には意欲や興味をもち、粘り強く、仲間と協調してものごとに取り組み「非認知能力」を育てることが大切で、これが数や文字などを理解する「認知能力」につながっていきます。大学というバックボーンがあることで、きちんとしたエビデンスを出しながら、こうした考えを発信し、実践していくことができています。

西村園長 非認知能力を育てるには、遊ぶことが一番。両園とも自然に恵まれ、他園にはない遊具を揃えていて、子どもたちが主体的に遊ぶ環境が整っています。こんなに遊びの機会に恵まれているのは星稜ならではのだと、保護者の方にも喜んで



いただいています。

島田園長 私たちは子どもの視点で、子どもにとって何が必要かを第一に考えて、幼児教育や保育を展開していきたいです。

西村園長 そのとおり。まずは園の中で、たくさん遊んでほしいですね。**島田園長** 地域の人々と交流し、地域の文化に親しむ機会も今まで通り大切にしていきたいです。一方で外国人教員や留学生が多い金沢星稜大学と接点を持つことで、グローバルな感覚にふれる機会も増やしていきたいです。

認定こども園とは

幼稚園に保育園の機能や特長をプラスし、地域の子育て支援も行う教育・保育施設で、「幼保連携型」「幼稚園型」「保育所型」「地方裁量型」の4つのタイプがあります。家庭の状況に応じて、次の3つの認定区分により、必要な教育・保育を行います。

認定区分	1号認定	2号認定	3号認定
対象年齢	教育を希望 3歳〜5歳児	教育・保育を希望 3歳〜5歳児	教育・保育を希望 0歳〜2歳児
利用形態	幼稚園機能の利用	幼稚園・保育園両方の機能を利用	
保護者の就労	就労なし 就労あり 4時間程度の就労	就労あり 保育標準時間（フルタイム就労等想定） 保育短時間（パートタイム就労等想定）	
利用時間	教育標準時間 8:30〜14:00	保育標準時間（最大11時間） 7:00〜18:00（就労要件は月48時間以上120時間未満） 保育短時間（最大8時間） 8:30〜16:30（就労要件は月48時間以上120時間未満）	
休園日	土曜日、日曜日、祝祭日 年始年末、春夏冬長期休暇	日曜日、祝祭日、年始年末	

- ・2号認定、3号認定は、保育を必要とする事由が必要です。
- ・就労状況が変わっても、そのまま継続で利用できます。
- ・保育時間が終了しても19:00まで延長保育できます。

ポイント

- 3〜5歳のお子さんは、保護者の就労状況に関わりなく教育・保育を一緒に受けます。保護者の就労状況が変わっても、通い慣れた園を継続して利用できます。
- 子育て支援の場が用意されていて、園に通っていない子どものご家庭も、子育て支援や親子の交流の場などに参加できます。

認定こども園への移行で進化すること

〔星稜幼稚園〕

- 調理室、ランチルームを新設します。
- 開園時間は7:00〜19:00になります。
- 0歳児からの保育を開始します。
- 全職員が幼稚園教諭と保育士の免許を有します。

〔星稜泉野幼稚園〕

- 開園時間は7:00〜19:00になります。
- 2歳児からの保育を開始します。
- 全職員が幼稚園教諭と保育士の免許を有します。

西村園長 大学の茶室をお借りしての茶道体験は本格的。いつもは賑やかな子どもたちも、白い靴下に履き替えて畳の部屋に入ると、凛とした空気を感ずるのか、いつもと違う姿がみられます。

職員が仕事を通じて 自己実現できる園に

島田園長 私自身は認定こども園移行を機に、働く職員が今まで以上にやりがいや生きがいを感じられる園にしたいとも思っています。

西村園長 職員が笑顔でなければ、子どもたちを笑顔にはできませんよね。やりがいを持って楽しく働ける職場づくりは園長の使命です。

島田園長 新制度が掲げる理念「すべての子どもたちが笑顔で成長していくために。すべての家庭が安心して子育てでき、育てる喜びを感じられるために。」の実現に向けて、質への高いこだわりを持ち、乳幼児教育・保育を提供する私たちにしかできない未来へのアプローチをしていきたいと思っています。



星稜中学校 星稜高等学校

中高一貫教育がスタート

2017年4月、星稜中学校・星稜高等学校は中高一貫教育校に変わります。

先取り教育を特色とする中高一貫教育は、東京など大都市の私立の学校を中心に広がっています。県内初の試みとなる「中高一貫理数コース」の設置を含む星稜の中高一貫教育は、地域の学校教育に新風を吹き込むものと内外からの注目を集めています。

星稜中学校の木浦副校長と、準備室の室長を務める濱野先生に、お話をうかがいました。



木浦英二
星稜中学校副校長

難関理系大学や医学部医学科への進学を目指す
「中高一貫理数コース」を新設

— 中高一貫教育導入に至った背景や経緯をお聞かせください。

濱野教諭 中高一貫教育の導入は、少子化が進む中で選ばれる学校になること、また6年間かけて文武両道の教育を実践することを目的としています。3年前に検討委員会が発足し、全国の中高一貫教育校を視察するなどして、検討を進めてきました。同委員会は今年度から準備室と名称を変えて、具体的な準備を行っています。

— 新たなカリキュラムや学習指導の特徴について教えてください。

濱野教諭 建学の精神のもと、「先取り教育」を取り入れた中高一貫カリキュラムを敷いています。中3から高1の学習内容に入ります。また中3から生徒の選択により、難関理系大学や医学部医学科への進学を目指す「中高一貫理数コース」を選んだ場合は、高2までに高校の学習内容をほぼ終え、最後の1年間は大学入試演習を行います。「星稜高校進学コース」を選んだ場合は、トップレベルの国立、私立大学を目指すAコース、学力向上を目指しながら部活動にも力を入れるBコース、部活動での全国トップレベルの活躍と大学進学を目指すPコースと、従来からある3つのコースを高1の時点で選択します。当校は2クラス編成なので、一人ひとりに目が届くという良さもあります。個々の教員の力に加え、カリキュラムによって進学実績を出していきたいと思っています。

木浦副校長 そもそも中高一貫教育の発想は、6年間をトータルに考え、効率的でゆとりあるカリキュラムで難関大学進学を目指すというものです。決して詰め込み教育ではありません。高校受験がない分、落ち着いた勉強に集中できますし、部活動にも継続して打ち込めます。

本校はもとより学校5日制を実施せず、第1・第3・第5土曜日は授業を実施しています。また月曜日は7時まで授業を行います。これにより中学の3年間で、全教科合わせて公立中学校より420時間多い授業時間を確保しています（※1）。生徒にはこの部分のゆとりを利用しながら、学校生活や学校行事も楽しみ、人間的に成長してほしいと思います。

濱野教諭 特色ある教育活動として「サイエンスプログラム」「キャリアプログラム」「グローバルプログラム」の3つのプログラムを実施する点も画期的です（※2）。また、2017年度の新入学生から1人1台タブレットPCを配布することが決まっています。授業に活用するほか、毎日の宿題配信、学校と保護者との連絡ツールとしても使用します。





濱野加代子
星稜中学校教諭

よき伝統を継承しつつ 新しい時代の要請に応える

— 周囲の反応はいかがですか？ —

木浦副校長 先取り教育は、首都圏や大阪など大都市の中高一貫教育校では珍しくありませんが、石川県では初のケースとなります。そのため今年度は、県内全小学校の6年生にリーフレットを配布したり、新聞広告やスマホのバナー広告を出したりと、星稜中学・高校が生まれ変わることを多くの人に知っていただくことに力を入れました。小学生とその保護者を対象にした学校説明会は、夜間に行うナイト説明会を含めて計8回実施しましたが、予想以上の参加者がありました。濱野先生と一緒に県内の学習塾も訪問しましたが、興味を持っていただけたと思います。

土地柄ですから、学校教育や中学入試のあり方に新風を吹き込んで欲しい、新たな選択肢が欲しいという潜在的なニーズはあったと思います。

— 逆にこれまでと「変わらない」という点がありますか？ —

木浦副校長 星稜といえばスポーツで全国的な知名度を誇っていますし、部活動に魅力を感じて星稜中学校を選んでいただくご家庭も少なくありません。部活動指導は引き続き積極的に行っていきます。

濱野教諭 学校のかたちは大きく変わりますが、あいさつを中心に礼儀を重んじる「しつけ教育」など、本校が大切にしてきた良き伝統は今後も継承していきます。

— 一期生が卒業する頃には、新しい大学入試が始まっています。

濱野教諭 大学入試センター試験は2020年1月(2019年度)の実施を最後に廃止され、2020年度より思考力・判断力・表現力を問う「大学入学希望者学力評価テスト」が導入されることになりました。新テストに照準を合わせて指導を行っていきます。

木浦副校長 さまざまな調査において、難関大学の合格者の多くを中高一貫校出身者が占めるというデータが出ています。一期生が大学に進学する6年後を楽しみにしています。



※1: 中学3年間の授業時間数の比較

3年間で公立中学校よりトータル420時間多い授業時間数を確保しています。

【国語】

星稜中学校: 420時間
公立中学校: 385時間

【社会】

星稜中学校: 420時間
公立中学校: 350時間

【理科】

星稜中学校: 455時間
公立中学校: 385時間

【数学】

星稜中学校: 525時間
公立中学校: 385時間

【英語】

星稜中学校: 525時間
公立中学校: 420時間

※2: 特色ある教育活動

【サイエンスプログラム】(中1、中3、高1)

理科学的な内容を中心に週に1回、グループごとに研究活動を行います。仮説、実験、観察、検証などを通して体験的に科学を学びます。中高一貫理数コースでは大学の研究室訪問も予定しています。

【キャリアプログラム】(中2)

体験行事への参加や職業研究などを通じて、将来の進路に対する夢とキャリアに対するイメージを膨らませます。医療現場で活躍するドクターの講演会も中学から参加できるようになります。

【グローバルプログラム】(中1～高2)

全員参加で「イングリッシュキャンプ」(中1)を行うほか、中高一貫理数コースでは約1週間のイギリス語学研修を行います(高1)。朝の時間を利用してNHKのラジオ基礎英語講座を聴くなど、コツコツと英語力を磨きます。

6年間の教育ステップとコース





金沢星稜大学附属 星稜泉野幼稚園
榎波 可純 先生

子どもの目線に立って 一緒に考え、手助けする

私は金沢星稜大学人間科学部こども学科の卒業生です。大学時代に実地演習でこの園を訪れたところ、子どもたちがとてもいきいきしていて、先生方もみんな優しく親しみやすい環境だったので、ぜひここで働きたいと思ったのがきっかけでした。

現在は2歳児クラス（いちご組）の担任をしています。いつも心がけているのは、「子どもたちにとって安心できる存在」になることです。2歳児にとって幼稚園は初めてお母さんから離れて集団生活を送る場です。4月の入園直後は、不安でしくしく泣いたり、大きな声で泣いたり、とてもにぎやかないちご組です。そんな子どもたちに寄り添い、幼稚園のお母さん役になれるように心がけています。また、

子どもの目線に立つことも大切です。2、3歳の頃はなんでも自分で自分で行ってしようとする意欲が出てきますが、まだできないこともあり、そんな時は、どうしてかな？と子どもと一緒に考えて、手助けをするようにしています。子どもが自分でできた時は「できたー」と満面の笑みと共に伝えてくれるので、こちらもうれしくなります。

子どもたちにとって、 安心できる存在を目指して。

子どもの成長を 保護者の方と共に

当園では「遊びこそ豊かな学び」を目標にしています。子ども同士、気持ちがあふつかり合ったりし、私たちが仲立ちをすることも珍しくありません。しかし、遊びを通して相手の気持ちに気づいたり、譲り合ったりと段々思いやりの気持ちがもてるようになってきます。最近では、友だちが泣いていると、その子の好きな玩具を手渡したり、頭をなでたり、そつと手をつなぐ様子が見られます。そんな子どもの成長した姿がとてもうれしく、この仕事を選んで良かったなと思います。

また、保護者の方に安心していただけるよう、連絡帳には子どもたち



2歳の子の成長はすごく早く、1年で驚くほどたくましくなってくれます。

のちょっとした変化をこまめに書くようにして、お子さんが園でどんなふうに過ごしているのかが伝わるように心がけています。

さらに今年4月からは「幼稚園型認定こども園」となり、保育の機能も兼ね備えるようになりました。これからも、子どもたち一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、保護者の方と一緒に子どもたちの成長を見守っていききたいと思っています。

個性を大切に、子ども一人ひとりに合わせた声かけをするよう心がけています。



**★ よりよい課外活動に！
サークルリーダー研修会開催**

2月21日(火)、今年度も「サークルリーダー研修会」が星稜フォーラムで行われました。クラブ・サークルなどの課外活動団体(約50団体)の代表・主務が集まり、サッカークラブ監督(元Jリーガー)、小松崎保氏による「リーダーとしての品格」の講演から研修会が始まりました。約半日の研修会でしたが、新入生の勧誘・流星祭の取り組み・課外活動のさらなる発展を目指すことを目的に学生間での意思疎通が図られ、実りある研修会となりました。



**★ ジャンプチャレンジ企画
成果報告会開催！**

今年度「ジャンプチャレンジ企画」として活動した18団体による成果報告が行われました。パワーポイントのスライドを用いて、各団体に所属する学生達が、1年間の活動を通してどれだけ力が付いたか、1人の学生として自分がいかに成長できたか、どれほど有意義な活動になったかなどを主眼に発表しました。来年度に向けて、これらの団体がさらに大きく展開していく、1人1人が「自分を超越する力をつける」学生になってくれることに期待しましょう！



**★ キラキラ輝く
スノーボード実習！**

今年も1月5日(木)～6日(金)の2日間、長野県榑池高原スキー場で、Sei-Tan Act!「ウィンタースポーツ」が行われました。1日目はスキー・スノーボードに分かれレッスンスタート！1年次はボード組で、2年次はスキー組です。

2日目はみんなでゴンドラに乗り、頂上から滑りました。

北陸とはまったく感覚の違う雪質で、天気も良く、少人数でウィンタースポーツを楽しむことができました！



高校生の時から、この行事に参加したかったので、本当に充実した2日間を過ごすことができました。次の日は全身筋肉痛になりましたが、それも含めて最高の冬の思い出です！！☆

初心者の学生も、初めて履いたボードで、最初は滑ることができた不安でしたが、インストラクターの丁寧な指導で、転けながらもなんとか滑れるようになったと話していました！

コメント(経営実務科1年次 小泉彩乃)

**★ キャリア科目の集大成、
マナーコンテスト開催！**

2月17日(金)、短大部学生ホールで「星短マナーコンテスト」が行われました。

今年は1チーム3名、全8チームが参加しました。

「社会人基礎Ⅰ」や「キャリアデザインⅡ」の講義で学んだことを活かし、これから社会に出てよく出くわすシチュエーションで本番さながらにロールプレイしました。ロールプレイングの内容はお客様対応や電話応対、お茶出しなど、基本的な接客の実践です。篠崎学長をはじめ、教職員も参加したロールプレイングの中で、学生達は堂々と役を務めました。



★ 高 思い出いっぱい 修学旅行！

12月2日(金)～5日(月)、1年生が各コースに分かれて修学旅行へ行きました。

どのコースも天候に恵まれ旅行日和のなか、事前学習で得た情報と知識をもとに見聞を広めながら、友人们との楽しい時間を思う存分過ごしました。

各コースの主な行き先は、次のとおりです。

Aコース 関東

1日目は国会議事堂見学後、別に分かれて難関大学や企業を訪問しました。

2日目は東京大学を見学後に別で再び各大学を訪問し、夜には劇団四季の「ライオンキング」を鑑賞。

3日目には東京デイズニースーを楽しみ、4日目は鎌倉大仏殿・鶴岡八幡宮などを見学しました。



Bコース 北九州

偶数クラスと奇数クラスに分かれ、偶数クラスは1日目、太宰府天満宮を見学しました。

2日目は長崎原爆資料館での見学と講話を受講後、長崎市内クラス別研修とハウステンボスへ行きました。

3日目はクラス別企業研修の実施、4日目は秋吉台・秋芳洞を訪れました。奇数クラスはその逆の日程を周りました。



Pコース 沖縄

1日目は途中道の駅などに寄り道しながら一路沖縄の地へ。

2日目はマリン実習、バイナツプルパークとネオパークオキナワへ行き、3日目は美ら海水族館ひめゆり平和祈念資料館へ行き、国際通りで別研修を行いました。

4日目は首里城見学の後、帰路に着きました。



★ 高 冬季体育大会 寒さ吹き飛ばせ！

12月14(水)・15日(木)の2日間、1・2年生が体育大会を行いました。ドッジボールやバレーボール、バスケットボールのほか、サッカーなど小雪の舞うなか熱い戦いが繰り広げられました。



★ 高 緊張の模擬選挙、体験！

2月18日(土)、2年生が金沢市の選挙管理委員会の方をお招きし、知事選を想定した模擬投票を体験しました。

実際の選挙でも使用されている投票箱や投票用紙が登場し、緊張感が漂う雰囲気の中、投票用紙を交付する役や立会人の役などを担当したり、普段見ることのできない開票作業など貴重な体験ができたとともに、今後18歳で投票する際の参考にもなりました。



★ 高 歓声！ スノーボード実習

2月15日(水)～17日(金)、2年生Pコースが長野県の梅池高原でスノーボード実習を行いました。

生徒たちは、ゲレンデに降りた瞬間、寒さも吹き飛ばすような一面の雪景色の壮さに歓声を上げました。

ボードに慣れるまでは四苦八苦しましたが、インストラクターの熱心な指導によって、自在に滑ることができるようになりました。白銀の大自然のなか、仲間との親睦を深められた有意義な実習でした。



★ スキー教室

2月16日(木)、1年から3年の総勢193名が、一里野温泉スキー場にて恒例のスキー教室に参加しました。

インストラクターによるレベルに合わせた指導のもと、スキーの基礎的な技術とマナーを習得しました。

青空の広がる好天のもと、最初は緊張の面持ちで滑っていましたが、午後からは思い思いに自由な滑走を楽しむようになり、何度かリフトに乗って急な斜面にも果敢に挑戦するようにになりました。友人や先生とスキーの醍醐味を存分に体感し、学んだ一日でした。



★ 講演会

12月15日(木)、稲置記念館において講演会が行われました。今年は、明治大学教授の源由理子先生をお招きし、「今、何に興味がありますか?」アポロ11号への興味から始まった私のキャリア」というテーマでお話をされました。

先生ご自身が体験された留学や国際協力についてのお話はとてもわかりやすく、生徒たちも興味深く聞いていました。



アポロ11号の月面着陸 1969年

“これは一人の人間にとっては小さな一歩だが、人類にとっては偉大な飛躍(大きな一歩)である”
(アームストロング船長)



That's one small step for a man,
one giant leap for mankind.

★ 総合学習発表会!

1月21日(土)、恒例行事のひとつ、15回目の総合学習発表会が稲置記念館講堂で開催されました。

各クラスが4月に選んだテーマをもとに、総合学習の時間を活用してじっくりと取り組み、その成果を披露しました。

1年生は「自然」をテーマに、今年も両クラスとも野菜の栽培に取り組み、その考察をスクリーンを使って発表しました。

また、2年生は「表現」をテーマにクラス劇に挑戦し、脚本や衣装、大道具などそれぞれに趣向を凝らしたステージを披露しました。

各クラスの発表内容は、次のとおりです。

- 1 A「野菜の栽培」
- 1 B「身近な自然」
- 2 B「ルパン&コナン」
- 2 A「三匹のこぶた」



★ 全国大会入賞 おめでとう!

全国高等学校総合体育大会、第66回全国高等学校スキー大会において、森田 路子さんが女子回転で8位に入賞しました。また、第25回全国高等学校文化連盟将棋新人大会において、女子の部で河内瑠美さん(写真)が、昨夏の全国高等学校将棋選手権大会の3位に引き続き、準優勝という快挙を達成しました。それぞれの部門で今後より一層の活躍が期待されます。



★ 中高 12月からの主な部活動成績

【星稜高等学校】

平成28年度石川県高等学校総合体育大会

- ・総合優秀校
- ・女子優秀校

第26回庄川清流杯北信越高等学校剣道新人大会

- ・男子団体 第3位

第25回松本旗争奪石川県高等学校剣道選抜大会

- ・男子団体 優勝 全国高等学校剣道選抜大会出場
- ・女子団体 第3位

第53回石川県高等学校スキー選手権大会

- ・男子大回転 第3位 森田 伊織 全国高等学校スキー大会出場
- ・男子回転 第3位 小津 大地 全国高等学校スキー大会出場
- ・女子大回転 第2位 森田 路子 全国高等学校スキー大会出場
- ・女子回転 優勝 森田 路子 全国高等学校スキー大会出場

第44回石川県高等学校新人スキー大会

- ・男子回転 第2位 田中 稀一郎
- ・男子回転 第3位 小津 大地
- ・男子大回転 第3位 田中 稀一郎
- ・男子アルペン総合 第2位
- ・女子回転 第1位 河端 里緒
- ・女子大回転 第2位 河端 里緒
- ・女子アルペン総合 第1位

第29回石川県高等学校ヴォーカルアンサンブルコンテスト

・A部門(重唱部門:5人以下)

- A-1 銀賞
- A-2 銀賞
- A-3 金賞
- A-4 銀賞
- A-5 銅賞

・B部門(合唱部門:16人以下)

- B-1 金賞及び北國新聞社社長賞
- B-2 銅賞

第69回中部日本高等学校演劇大会

- ・奨励賞

益川塾第9回シンポジウム

- ・益川塾頭賞

第4回北信越地区自然科学部研究発表会

- ・研究奨励賞「月面環境形成過程の推察」



☆伝承したい日本の伝統☆

◎伝統文化「茶道」

年長児は月1回大学の茶室にて「礼節を大切に
する心」「集中力」を養うことを目的に裏千家・
平野宗綱師範にお点前を習い、お茶室では心落
ち着かせ神妙な表情を見せる子ども達。九谷陶
芸作家・戸出克彦氏が子どもサイズに焼いてく
ださった抹茶碗で初めてお抹茶を口にしたとき
は「ちよっぴり苦い」と言っていた子ども達も回
を重ねるにつれて「お抹茶、大好き!」とお点前
を楽しみにしていました。3月のお茶会では保
護者を招きお点前の一つ「お運び」でもてなし
をしました。卒園前に思い出が一つ増えました。



◎伝統工芸「箔はり」

1月、「金箔屋さくだ」さんのご協力のもと年
長児が箔はりを体験しました。職人さんが金箔
を使って作業する姿を間近で見、その美しさ
に感動していました。自分たちも注意深く、根
気よく、最後まで集中が途切れることなくミニ
桜箱を完成させました。



◎伝統食文化「味噌作り」

2月、味噌が一番おいしく仕上がるという仕
込み時期に年中児が東山の「高木糴商店」さん
で味噌作りを経験しました。柔らかく煮られた
大豆に塩、水、麹と混ぜていき、だんだん味噌ら
しく変わっていく様子を楽しみながら作ってい
ました。楽しい体験は早速役割コーナーで味噌
作りごっことなり、当日ながら食材を混ぜ、
「味噌下さい。」とお店屋さんごっこも楽しんで
いました。味噌は半年後、新設された調理室で
温かい味噌汁になり、給食で頂く予定です。



☆和菓子作り体験☆

和菓子作り体験をしました。翌日のお茶会
でお家の方と一緒に食べるお菓子2つを藤井菓
子舗の方に教えて頂いて作りました。和菓子は、
ピンク色、茶色、黄色の3色のあんこを使っ
たり、L型の可愛らしい上生菓子に仕上が
りました。お菓子を作る時の子ども達のまなざしは真
剣そのもの。できあがると食べるのが楽しみな
ように「早く食べたいな」と話し、翌日のお茶
会をとっても楽しみにしていました。



☆紙漉き体験☆

12月に二俣和紙の紙漉き体験に行ってきま
した。斎藤博さん(金沢の伝統工
芸士)に漉き方を教えて頂き、
素敵な作品に仕上がりました。
その和紙を使って「お茶会」の招
待状を作り、それぞれお家の方
に渡したところ、お家の方から
感激の声が多数聞かれました。



☆お茶会☆

大学の茶室でお茶会を開きました。始めは、
普段の茶道の時間に習った事をお家の方に見て頂
き、その後はお家の方に和菓子とお茶をふるま
いました。子ども達の手作りのお菓子を頂く時
のお母さん達はとても嬉しそうで、そんなお母
さん達の表情を見て子ども達はホッとしたよう
な嬉しいような笑顔にあふれていました。幼稚園
生活最後のとても良い思い出になりました。



北國銀行で活躍する 「星稜」の卒業生



海外ビジネス戦略部 海外ビジネス戦略課

課長代理

水口 健司

(星稜高等学校 第38期卒)

星稜で培った「ガッツ」をもとに お客様の海外進出を支援しています。

星稜高校を卒業後、大学を経て平成18年に北國銀行に入行しました。今年で入行から11年目を迎え、現在は海外ビジネス戦略課に所属しています。

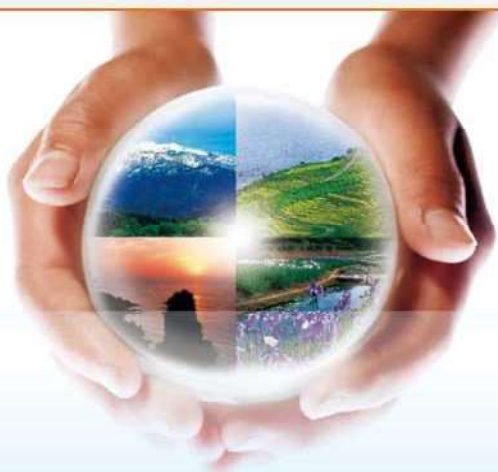
当課では、外国為替や海外融資といった従来の金融サービスは勿論のこと、お客さまの海外販路開拓や海外進出のお手伝いもしています。具体的には、お客さまの商品（お酒・伝統工芸品・特産品など）をお客さまの代わりに北國銀行が海外のバイヤーと商談し、営業を行うサービスです。また海外進出のお手伝いでは、現地の法規制やマーケットを調

査し、お客さまと共に海外拠点を設立するサービスを行っています。

現在は海外業務に携わっていますが、入行から主に支店で法人営業をしていました。そこで想像以上に地域の企業が海外と密接に結びついていることを知り、銀行員として海外勤務を経験したいと思うようになりました。ちょうどその頃に北國銀行の提携金融機関であるバンコック銀行への出向が決まり、結果として約3年間タイに滞在していました。

タイには大企業から中小企業まで多くの日本企業が進出しています。北陸の企業も100社超進出しており、現在もその数は増え続けています。また近年はタイのみならずベトナムなどの近隣国に進出する企業も増えていきます。皆さんが就職する頃には企業のグローバル化は更に加速しているはずです。北國銀行もまた昨年シンガポール支店を開設するなど、これまで以上にお客さまの海外展開を支援する体制を整えています。

学生の皆さまには、何事も情熱を持って取り組んで頂きたいと思っています。私ごとですが、在学中所属したサッカー部では3年間応援席でした。ただ3年間やり抜いたことは社会人になっても自信となっています。仕事も遊びも「ガッツ」が重要です。時代に合わない精神論ですが、サッカー部で培ったガッツが私の基盤となっています。文末になりますが、皆さまの今後のご活躍を祈念しております。



一緒に守りたい、今日があります。
ともに創りたい、未来があります。

ふるさとの今日を、明日につないでいく。

地域のみなさと、未来をひらいていく。

ふるさとに暮らす人々が、

今日も、明日も笑顔で過ごすことができるように。

北國銀行は、これまでこれからも

地域とともに歩む銀行であり続けます。

総合研究所・ 地域連携センター だより

地域連携センター

地域との
連携を
さらに推進

本学は、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展と地域を担う人材の育成・交流などを目指し、地域と積極的な連携を行います。今年度は、次の自治体等と連携協定を締結しました。

○金沢中心商店街武蔵活性化協議会（1月20日）

主な連携事業

・武蔵地区商店街の活性化 ・学生の学修及び教員の研究活動の発展

○珠洲市（2月17日）

主な連携事業

・地域産業の振興 ・地域資源の保全・活用

○白山市（3月2日）

主な連携事業

・自然と共生するまちづくりの推進 ・健康・スポーツの推進
・教育及び人材の育成・交流



金沢中心商店街武蔵活性化協議会との調印式



珠洲市との調印式



白山市との調印式

地域連携センター

大学・地域連携
アクティブフォーラム
（学生による地域連携事業成果報告会）

2月18日（土）、大学コンソーシアム石川主催の「大学・地域連携アクティブフォーラム」が金沢東急ホテルで行われました。活動に取り組んだ学生や地域の方々が一堂に集まり、これからの大学と地域との連携のあり方を考えながらの活動報告でした。

「地域課題研究ゼミナール支援事業」12件、「地域貢献型学生プロジェクト推進事業」7件について学生たちが、それぞれの成果をアピールしました。

本学からは、地域課題「電動アシスト自転車を用いた散在する観光素材の有効活用について」で、経済学部・捧ゼミナール（浅田一さん・齋藤俊也さん・不破祐輝さん）と経済学部・佐野ゼミナール（信濃修介さん・立野郁也さん・直江恒典さん）が報告し、同じく地域課題「廃校施設の有効利用」では、経済学部・川澄ゼミナール（谷村将己さん・田村敏生さん・上出莉穂さん・坂本有紗さん・澤田ちひろさん）がそれぞれの取組内容と成果を発表しました。

また、会場ロビーに設けられた「ポスターセッション」でも、学生たちが取組の概要説明を行い、参加者から高い関心を得ていました。



真力 至誠一貫

星稜中学校野球部OB会発足 現役部員へ横断幕贈呈

これまで6度の全国制覇を果たした中学野球部。2017年1月にOB会が設立されたことを記念し、OB会より現役部員へ激励を込めた横断幕が贈られました。

2月22日(水)に行われた贈呈式では、中学野球部2期生である紺日出夫副会長より現キャプテンの内山壮真君に横断幕が手渡されました。横断幕の題字の選定と揮毫は稲置慎也理事長によるものです。

現役部員達には、誠意を貫き通すという言葉の意味を胸に、日々の練習に励み次の頂点を目指して欲しいとのOB会からのメッセージが伝えられました。

星稜中学校野球部OB会 役員紹介(敬称略)

会長	今村 司 (1期生)	事務局長	端保 聡 (7期生)
副会長	紺 日出夫 (2期生)	事務局次長	本橋 将 (14期生)
同	影近 幸一 (3期生)	会計	西田 政史 (19期生)

横断幕は、3月24日より静岡県で開催された「第8回全日本少年春季軟式野球大会」で公式戦初披露。北信越からの代表として出場した星稜中学校は、見事に勝ち進み初優勝。夏春連覇という偉業を達成しました。

優勝報告は次号の星稜サ・エ・ラ45号で行います。



星 稜 INFORMATION

2017年度 エクステンション資格ガイド完成しました。

資格取得支援として、年間のべ約1700名が利用しているエクステンション講座。
2017年度も全62講座を開講し、スキルアップ、キャリアアップを支援します。

●2017年度 新講座ラインナップ

【Excel活用コース(マクロ/VBA)】業務効率、プログラミング基礎学習のためのExcel活用術を学びます。

【BATIC(国際会計検定)】国際的なビジネスの共通言語である会計を英語で理解できます。

【国内旅行業務取扱管理者 本科講座】初学者の方でも学べる旅行業界唯一の国家資格です。

【TOEIC対策講座】少人数制による個別レッスンで短期間のレベルアップを目指しましょう。

【留学英会話・ビジネス英会話講座】外国人講師による講義で、対話力が短期で身につきます。

【文章力実践講座】日経新聞社の記者から文章作成のノウハウを伝授!日経新聞3カ月無料購読がつきます。

●2017年度 マイナーチェンジ講座

【日商簿記講座(3級~1級)】平成29年度新区分に対応、近年の難易度向上に伴い、授業時間を増加させました。

【証券外務員(二種)講座】正会員向け、特別会員向けどちらも対応できるようになりました。

【医療事務講座】特殊な業界学習のため、2年次以上の受講制限を設けました。



星稜サ・エ・ラに関するアンケートへのご協力をお願い

いつも『星稜サ・エ・ラ』をご愛読頂き、誠にありがとうございます。
毎号の内容に関する皆様からのご意見を「Webアンケートフォーム」を通じて頂戴し、本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方、抽選で20名様にQUOカード(500円分)をプレゼントいたします。右記QRコードから、アンケートへの回答をお願いいたします。



抽選で20名様に
QUOカードをプレゼント!

行事スケジュール (4月～6月)

金沢星稜大学

4	2日(日)	入学式
	4日(火)・5日(水)	新入生ガイダンス
	6日(木)・7日(金)	新入生研修
	10日(月)	授業開始
	15日(土)	新入生歓迎祭
	29日(土)～5月7日(日)	GW休講期間
5	1日(月)	休講(4/2振替講義分)
	2日(火)	休講(7/17振替講義分)
	13日(土)・27日(土)	補講日
6	10日(土)・24日(土)	補講日

金沢星稜大学女子短期大学部

4	2日(日)	入学式
	4日(火)～7日(金)	新入生ガイダンス
	10日(月)	授業開始
	22日(土)	新入生歓迎祭
	29日(土)～5月7日(日)	GW休講期間
5	1日(月)	休講(4/2振替講義分)
	2日(火)	休講(7/17振替講義分)
	13日(土)・27日(土)	補講日
6	10日(土)・24日(土)	補講日

星稜高等学校

4	6日(木)	始業式、自転車安全教室(2・3年)
	7日(金)	入学式
	10日(月)	1年研修会、自転車安全教室(1年)
	14日(金)・17日(月)・18日(火)	内科検診
	15日(土)	身体計測
	25日(火)	遠足
5	15日(月)～18日(木)	中間試験
	18日(木)	総体・総文激励会
	20日(土)	PTA総会、保護者対象講演会 3年学級懇談会、1年Aコース懇談会
	26日(金)	避難訓練
6	3日(土)	1年保護者対象説明会
	5日(月)～7日(水)	歯科検診
	30日(金)・7月1日(土) 7月3日(月)～7月5日(水)	期末試験

星稜中学校

4	6日(木)	始業式
	7日(金)	入学式
	11日(火)	1年研修会 交通安全教室、自転車通学説明会
	12日(水)	1年研修会
	15日(土)	身体計測
	25日(火)	遠足
5	6日(土)	スポーツテスト測定
	15日(月)・16日(火)	中間試験
6	1日(木)・2日(金)	写生大会
	2日(金)	3年進路説明会
	16日(金)	県体激励会

あとがき

今年も春がやってきました。春は出会いと果立ちの季節。先日各設置校から送り出した総勢1421名の卒業生、卒園生。皆さんの人生に幸多かれと教職員一同心から応援しています。また、4月には新たに1530名の学生、生徒、園児の皆さんが「星稜」の仲間に加わりました。本学園の建学精神「誠実に社会に役立つ人間の育成」を胸に皆さんの稲置学園で過ごす毎日がこれまでの卒業生、卒園生と同様に実り多きものとなるでしょう。

金沢星稜大学附属星稜幼稚園 磯 聖子

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

4	1日(土)	開園記念式典
	6日(木)	始業式
	8日(土)	入園式
	11日(火)	年長 ABCランド
	18日(火)	プール開き
	19日(水)	星稜子育てステーション(2歳)
	20日(木)	星稜子育てステーション(0歳)
	21日(金)	星稜子育てステーション(1歳)
	24日(月)	避難訓練(地震)
	27日(木)	年長 茶道体験
	28日(金)	誕生会参観
5	1日(月)	子どもの日の集い
	2日(火)	全クラス 参観日
	10日(水)	内科検診、玉川こども図書館出張保育
	15日(月)	キッズサッカー
	17日(水)	星稜子育てステーション(2歳)
	18日(木)	星稜子育てステーション(0歳)
	19日(金)	星稜子育てステーション(1歳)
	22日(月)	キッズサッカー
	23日(火)	年長 ABCランド
	24日(水)	年少 親子の集い
	25日(木)	年長 茶道体験
	26日(金)	誕生会参観
	29日(月)	避難訓練(火災)
6	1日(木)	歯科検診
	3日(土)	百万石まつり 踊り流し
	5日(月)	キッズサッカー
	9日(金)	避難訓練(地震)
	14日(水)	年長 アスレパル石川
	15日(木)	上記予備日
	19日(月)	キッズサッカー
	20日(火)	年長 ABCランド
	21日(水)	星稜子育てステーション(2歳)
	22日(木)	星稜子育てステーション(0歳)
	23日(金)	星稜子育てステーション(1歳)
	29日(木)	年長 茶道体験
	30日(金)	誕生会参観

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

4	1日(土)	開園記念式典
	6日(木)	始業式
	8日(土)	入園式
	17日(月)	避難訓練
	18日(火)	A B Cランド(年長・年中)
	19日(水)・26日(水)	子育て広場(1歳)
	20日(木)	入園・進級写真撮影
	21日(金)・28日(金)	子育て広場(2歳)
	24日(月)	クラス懇談(年長)
	25日(火)	レッツスポーツ(年長)
	27日(木)	誕生会参観
	28日(金)	リトミック(年中)
5	8日(月)	茶道(年長)
	9日(火)	レッツスポーツ(年長)
	9日(火)・16日(火)・23日(火)・30日(火)	子育て広場(0歳)
	10日(水)・17日(水)・24日(水)	子育て広場(1歳)
	10日(水)	リトミック(年中)
	11日(木)	保護者会総会
	12日(金)・19日(金)・26日(金)	子育て広場(2歳)
	15日(月)	茶道(年長)
	16日(火)	ABCランド(年長・年中)
	18日(木)	クラス懇談(年中)
	22日(月)	避難訓練
	23日(火)	レッツスポーツ(年中)
	25日(木)	クラス懇談(年少)
	31日(水)	誕生会参観
6	1日(木)	親子遠足(年中)
	2日(金)	歯科検診
	5日(月)	リトミック(年中)
	6日(火)	レッツスポーツ(年長)
	6日(火)・13日(火)・20日(火)	子育て広場(0歳)
	7日(水)・21日(水)・28日(水)	子育て広場(1歳)
	8日(木)	避難訓練
	9日(金)・16日(金)・23日(金)・30日(金)	子育て広場(2歳)
	14日(水)	アスレパル石川
	15日(木)	アスレパル石川予備日
	16日(金)	観劇(年中)
	19日(月)	茶道(年長)
	20日(火)	レッツスポーツ(年長)
	24日(土)	希望懇談(年少)
	26日(月)	茶道(年長)
	27日(火)	ABCランド(年長・年中)
	29日(木)	誕生会参観

Since 1932

星稜

誠実に社会に役立つ人間の育成

学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

石川県金沢市御所町丑10番地1
TEL 076-253-3924(代表)
(大 学) <http://www.seiryu-u.ac.jp/u/>
(短 大) <http://www.seiryu-u.ac.jp/c/>

星稜高等学校・星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206番地
TEL 076-252-2237(代表)
<http://www.seiryu-hs.jp>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27番地
TEL 076-252-5057(代表)
<http://kinder.seiryu.jp/seiryu/>

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6丁目17番30号
TEL 076-244-5636(代表)
<http://kinder.seiryu.jp/zumino/>

〈星稜サ・エ・ラ〉 サ・エ・ラ (cà et là)とはフランス語で「ここそこ」「あちこち」。幼稚園から大学まで色々な場面にスポットを当てるという意味で、「どこでも星稜教育が息づいている」という表しです。